



杉谷洋一議員

全国植樹祭の誘致で

山林管理の強化を

町長

健全な森林保全に

取り組む

問 地球温暖化防止や災害防止に対して、森を再生し保水力を高めるための山林管理が必要である。

- ① 民有林の公費投入は。
- ② 鳥取県森林環境保全税を活用した取り組みは。
- ③ 松くい虫の空中散布状況と効果は。

④ 第六十四回全国植樹祭の町内誘致に向けた取り組みは。

⑤ 学校における森林教育活動の取り組みは。

答 森田町長

① 山林の公益的及び多面的機能を発揮させるため



荒れた山林

⑤ 中山中学校で、学校敷地内に植えてある樹木の中から、自分の木を決めて、下草刈を行い、成長の様子を記録する「一人一木運動」に取り組んでいる。

答 伊澤教育委員長

④ 健全な森林保全の重要性を認識しており、その視点で現状を把握し、可能性があれば、西部の町村長と協議し、取り組むたい。

問

現状や現場の課題をふまえた上で、住民の身近な問題を町政に反映するために、どのような集落行政座談会を考えているか。

答 森田町長

地域づくりは集落の課題・問題点を一人ひとりが自らのこととして考え、将来の集落のあり方、さらに地域のあり方を行政と住民が協働で汗を流す取り組みが必要である。そのためには、区長やまちづくり推進委員会を中心に研修会を持ち、計画的

集落座談会はどのように

方向性をもちながら
検討

町長



住民説明会はまちづくりの基本

に集落の点検から始めたかと思っっている。

また、座談会は拠点的にするか、要望のある所からするか、全ての集落に向いて意見を聞くのか、検討したい。集落の人と一緒にあって、現状や問題点を把握することにより、集落・地域・行政で取り組むべきことなどの課題を整理し、それ

それぞれの役割分担をしながら、その解決策や集落・地域の将来に対し、誰もが元気で安心、安全にごせるムラづくりを考えている。

座談会はこのような内容、方向性を持ちながら計画的に行いたい。さらに、各種団体と意見交換を持ち、現状把握に努めている。